

入院診療計画書：前立腺全摘術

病棟 号室 患者氏名：<<ORIBP_KANJI>> 様

<<DYTODAY>>発行

月日	#VALUE!		#VALUE!	#VALUE!	#VALUE! ~ #VALUE!	#VALUE! ~ #VALUE!	#VALUE! ~ #VALUE!
経過	手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	手術後1日目	2～4日目	5～9日目	10～12日目
達成目標	・手術の必要性を理解し、準備が整う	・手術の準備が整う	・手術後の安静が理解できる	・歩行が開始できる ・術後合併症がない	・痛みが自制的内である ・創部に問題がない	・退院後の治療計画について理解できる	・問題なく退院できる
治療計画	点滴		・点滴を続けます 	・点滴を続けます	・状態によって、点滴を続けます	・点滴はありません	→
	内服	・血液さらさらの薬は中止します	・朝の薬は指示された分だけを飲んで下さい	・医師の確認後、再開予定です 	→	→	→
処置	・必要に応じて、毛を剃ったりします	・肺塞栓防止のために弾性ストッキングをはきます	・酸素マスク、血圧計 心電図モニターを装着します ・血栓予防の機械を足につけます ・背中に痛み止めの管が入ってきます	・傷の状態を観察します ・弾性ストッキングは着けたままです	・背中の方を抜きます ・歩くことができれば弾性ストッキングを外します	・7日目頃に抜糸をします	
検査	・採血 			・採血、レントゲン 		・尿道の造影検査を行います	
活動安静度	・制限はありません	→	・ベッド上で安静に過ごします ・寝返りはできます ・積極的に手足を動かしましょう	・ベッドサイドで立ち上がりや歩く練習を始めます	・病棟内を歩くことが出来ます	→	→
食事	・19時以降は食べることができません	・食べられません ・指示された時間まで飲水は可能です		・食事はおなかの状態をみて再開します	→	→	→
清潔	・皮膚の清潔のためにシャワー浴をしてください 			・身体を拭きます	→	・傷の状態がよければシャワー浴ができます	
排泄	・制限はありません		・尿の管が入ってきます	・尿の管は入ったままです	→	・検査結果で尿の管を抜きます ・尿の管を抜いた後は尿の量をはかります	
教育指導説明	・麻酔医と手術室看護師の訪問があります ・看護師が、入院中および退院後の生活について説明をします ・腹帯を準備して下さい ・骨盤底筋運動の説明を行います	・入れ歯、ヘアピン、眼鏡、指輪などは外して下さい ・ご家族は、手術の30分前位に病院にお越し下さい ・手術中は、手術室の待合室で待機して下さい 		・痛み・吐き気・気分不良等ありましたら、我慢せず看護師へお知らせ下さい ・必要時、鎮痛剤等を使います ・術後は、できるだけ体を動かしましょう ・ご心配な事などありましたら遠慮なく医師や看護師にお知らせ下さい		・尿の管が抜けた後は尿漏れをしやすいので、しばらく尿取りパットを使用します ・尿漏れは長く続く事もあります	・退院後の注意点について説明があります ・次回外来予約表を渡します
特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> 有 栄養状態に合わせた栄養管理を行います <input type="checkbox"/> 無						
病名：	佐賀県医療センター好生館 泌尿器科 主治医：<<ORDCT_S_A>> ㊟、 看護師：<<ORDCT_N_A>> ㊟ 主治医以外の担当者名： 担当医 <<ORDCT_T_A>>、 薬剤師 ▲▲▲、 管理栄養士 ▲▲▲						
症状：	上記及び左記について説明を受けました。 年 月 日						
術式：	患者氏名： ㊟（印鑑がない場合は自署） 親族氏名： ㊟（患者本人が未成年または親族の同意が必要な場合に記入）						

注1：病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2：入院期間については、現時点で予想されるものです。